

クラブ運営方針

会 長 石 丸 実

2021～2022年度国際ロータリー会長シェカール・メータ氏は今年度のR Iテーマを「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために (Serve to Change Lives)」とされました。

また第2740地区ガバナー塚崎寛氏は、行動指針として「新しい時代のロータリーを共に考え行動しよう」とし、時代に即した組織作りを目指しましょう!! と激を飛ばされました。

国際ロータリー会長シェカール・メータ氏も第2740地区ガバナー塚崎寛氏もいずれも会員増強が重要であることを指摘され、とりわけ国際ロータリー会長シェカール・メータ氏は会員数130万人を目標に掲げられました。

また、第2740地区ガバナー塚崎寛氏は女性会員0クラブを0に、各クラブの会員数に応じて会員数を増やすという目標を設定されました。当クラブに当てはめれば3～4名の会員増を目指すことになります。

武雄ロータリークラブにおいては現在会員数が減少しており、また女性会員も多い時には5名もいらっしやっただのにこれも減少しています。新型コロナウイルス感染症の蔓延のため経済が不安定な中、難しいところはありますが、何とか頑張って会員数を増やしていきたいと思えます。

また、第2740地区ガバナー塚崎寛氏はロータリー奉仕デーへの参加を要請されました。これは、ロータリークラブが地域社会にもっと関わっていこうということだと思えます。

地域社会と関わっていくということでは、献血やロータリージャルダンの清掃、無料相談会などを行っていますが、これを複数のRC、RAC、IACと行うことを求められています。

新型コロナウイルス感染症が何時収束するのか分かりませんが、武雄ロータリークラブは、この1年間会員の皆様と共に楽しく、親睦を深め、活動して参りますので何卒よろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

幹 事 方 針

幹 事 中 尾 中

私が武雄ロータリークラブに入会して一番恩恵に与ったのが先輩の方々との懇親です。入会時、私は33歳の若輩者で社会や仕事のことなどほとんどわかっていなかったのですが、例会や懇親の場で先輩の方々からいろいろなことを教えていただきました。それが今の私の礎になっています。

そのため、私が最も重視したいのが懇親の場をできるだけ多く設けることになります。昨今のコロナ感染拡大の状況では困難な場合が数多くあると思いますが、一つでも多く実現できればと考えています。

また、会長の標榜される会員の増強や地域社会への貢献などにも積極的に関わって、少しでも会長のお力になればと思っています。

拙い点が多くご迷惑をお掛けしますが、一年間よろしくお願い致します。

S A A

S A A 井 上 俊 正

副S A A 宮崎 幸久 石丸 太郎
坂井 貞樹

1. 例会場の設営と入退場のチェックを行う。
2. プログラム委員の協力により、例会の司会進行がスムーズに行えるよう努める。特に卓話者の時間確保に努める。
3. 例会時の座席は、会員の親睦を深めるため毎回くじ引きとし、指定された席に必ず座る事とする。
4. 私語に対して注意をする。
5. 卓話については時間励行をお願いする。(卓話者への事前確認)
6. ニコニコ箱への協力依頼と経過報告

クラブ奉仕・管理運営委員会

委員長 山下 功
委員 谷口 優 梶川ゆり子
宮崎 幸久 山口 正
中尾 直弘

会長のクラブ運営方針に基づき、コロナウイルス感染症対策を取りながら、各委員会の事業計画が、円滑に運営されるよう、また会員が楽しく参加できるクラブを目指します。

出席委員会

委員長 谷口 優
委員 田中隆一郎 片渕 克明

1. 出席率の向上を目指し、会員の協力を得られるように努力する。
※ロータリアンとしての出席義務の徹底
※年間出席率90%以上を目指す。
2. 欠席者に事前事後のメーキャップをお願いする。
(メーキャップは、年度内が有効である)
※出席率が悪い場合にはメーキャップツアーを実施する。
3. 地区大会、IMなど全体的な行事への出席の奨励
4. 年間出席率100%の会員に記念品を贈り表彰する。
5. 永年に亘り出席された会員に対し、周年賞を贈って表彰する。
6. 出席に関する決まり・語句を委員会で学び、会員に周知する。

親睦活動委員会

委員長 梶川 ゆり子

委員 大島 一洋 牟田 勝浩
山本 則幸

1. 会員相互の親睦を深めるために夜の例会を実施する。
 - ①観月例会（10月4日）
 - ②クリスマス家族会（12月20日）
 - ③新年例会（1月17日）
 - ④観桜例会（4月4日）
 - ⑤年度末懇親例会（6月27日）

2. 会員相互の親睦を深めるために行事を実施する。
 - ①親睦旅行の実施（コロナ終息後を予定）

3. 会員の誕生日を祝うための企画を実施する。
 - ①記念品を贈る。
 - ②毎月第一週配布の週報で該当会員を紹介する。

4. クラブ行事・各種同好会の活動の支援をする。
 - ①ゴルフ同好会
 - ②ボウリング同好会
 - ③雑技団

5. 第3グループ親睦会への参加、他クラブとの交流を図る。
 - ①親睦委員長会議への出席
 - ②カラオケ大会
 - ③ゴルフ大会

6. 例会時のビジター・ゲストの案内および接待をする。

7. 委員会メンバーの相互の親睦を図り運営を円滑にする。

プログラム委員会

委員長 宮崎 幸久

委員 石丸 太郎 坂井 貞樹

例会がスムーズに運ぶように、会員の皆さまに協力を頂く。

1. 円滑な例会運営

- ①例会の時間配分に注意する。
- ②例会の準備や片付けを確実にこなす。
- ③座席のくじ、席札を準備する。
- ④例会場の移動には、準備等を確実にこなす。

2. 卓話の実施

- ①会員の皆様をお願いする。
- ②外来卓話を各委員会の協力を得て実施する。
(年間10名位を目標にする)
- ③奉仕プロジェクト及びロータリー情報委員会と連携してロータリー情報を提供して頂く。

3. 活動報告は、各委員会で例会時に報告してもらう。

4. 当委員会は副SAAと兼務であり、例会を円滑に進めるために、会員各位に協力をお願いする。

雑誌・会報委員会

委員長 山口 正

委員 前田 浩尚

週報が、クラブ活動の記録誌であり、情報源であることを再認識し、会員のためになる紙面づくりに取り組みます。

1. 週報

①クラブ情報や委員会及び会員の活動状況等を掲載します。

②週報保存用のファイルを会員に配布します。

③週報の作成、印刷、配布を行います。

2. ロータリーの友

「ロータリーの友」の記事を紹介し、啓発を行います。

3. 委員相互のコミュニケーションを深めるとともに、他委員会と連携し、会報作成や情報の伝達に努めます。

ロータリー情報委員会

委員長 中尾 直弘

委員 牛島 真澄

1. ロータリーの活動運営の情報を会員に提供する。

2. 入会 3 年未満の新会員に対して、ロータリーへの理解と相互親睦のため、年 1 回懇話会を開く。

3. 会員の皆さんには、例会時新会員に出来るだけ話し掛けて頂き、友情を深めて貰いたい。

会員増強・会員選考委員会

委員長 池田 順 秀

委員 山口 修代 池田 太右

1. コロナ禍による休会続きの中で、本年度会員増強は難しい事です。その為には会員からの推薦を期待して、純増2名を目標として努力します。
2. 職業分類委員会と連携して、入会候補者の発掘に務める。
3. 会員推薦があった場合は、速やかに委員会を開催し、選考の基準に留意して、その可否を理事会に報告する。

職業分類委員会

委員長 馬 場 博

委員 山口 修代 池田 太右

1. 新会員の推薦があって入会が承認されたら、職業分類を決める。
2. 職業分類表の未充填分野に属する新会員の入会を会員の皆様にお願ひする。
3. 会員増強・選考委員会との連携を密にし、会員増強に協力する。

広報・公共イメージ委員会

委員長 井手 静 雄

委員 上田 雄一

1. 地方紙への新年度役員の掲載を依頼する。(新聞各紙・7月初旬)
2. 職業奉仕およびロータリー情報の各委員会と協力し、当クラブの活動について、地域社会に積極的に広報する。
* 無料法律相談に伴う広報 (開催前2回)
3. 「ロータリーの友」の整理
4. クラブ週報の製本保存を行う。
5. 武雄ロータリークラブHPの迅速な更新、維持管理を行う。
6. マイロータリーへの登録推進をはかる。

奉仕プロジェクト委員会

委員長 花 田 晴 年

委員 野中 績宏 山口 勝弘
岡本 忠裕 原 隆司

各奉仕委員長委員各位のご協力の下、「職業奉仕」「社会奉仕」「青少年奉仕」「国際奉仕」の四つの対外奉仕活動の連携を図り、それぞれの委員会事業のより一層の活性化を目指します。また、地域社会で求められる、合同での奉仕プロジェクトの機会を探します。

職業奉仕委員会

委員長 野中 績 宏
委員 富永 正嗣 鬼橋 正敏

1. 第17回無料法律相談会の開催
2. 会員企業で働く優良社員の表彰
3. 事業所（企業）への職場訪問
4. 職業奉仕についての卓話（職業奉仕月間1月予定）

社会奉仕委員会

委員長 山口 勝 弘
委員 平野 実 辻 清定
光武 信雄

1. 愛の献血運動の実施
2. 地域発展のために必要な事業の遂行
3. ロータリージャルダンの清掃・管理を行う。
4. 秋田戊辰戦争 佐賀藩士慰霊祭への献酒を行う。

青少年奉仕委員会

委員長 岡本 忠裕
委員 谷川 大志 眞崎 賢一
田中順一郎

1. RYLAへの参加
2. 地区青少年奉仕セミナーへの参加
3. 青少年活動及び育成への助成
4. 青少年懇話会をインターアクターとの共催で開催

インターアクト委員会

委員長 岡本 忠裕
委員 谷川 大志 眞崎 賢一
田中順一郎

1. インターアクト指導者研修会参加（前期・後期）
2. インターアクト年次大会はコロナウイルス感染拡大防止のため中止
3. インターアクト活動のための備品購入

武雄RC奨学生委員会

委員長 岡本 忠 裕
委員 谷川 大志 眞崎 賢一
田中順一郎

1. 新規奨学生の推薦
2. 武雄RC奨学生希望者への広報（ポスター並びにチラシ作成）
3. 奨学生の例会等での近況報告（年1回）
室原実ノ里さん
4. 奨学金の振込（年4回）
四半期ごと：3月・6月・9月・12月
5. 奨学金返済状況の確認（現在4名）
山口 優さん・田代耕士さん・森山愛弓さん・横尾圭織さん

国際奉仕委員会

委員長 原 隆 司

委員 新納 英明

1. 国際奉仕活動に資するため、外国の生活・文化・歴史を学び、留学生や海外旅行経験者に卓話をお願いする。
2. 海外で発生した災害に対し、復旧支援の義援金を募る。
3. ポリオ撲滅の意識向上を図る。
4. 地区の活動に沿って協力する。
5. ロータリー青少年交換留学生に対する事業を行う。

ロータリー財団委員会

委員長 権 島 和 行

委員 副島 昭弘

1. 財団への寄付の声掛けを行う。
2. ロータリー財団に対する理解と活動への協力を会員にお願いし、財団月間の月に外来卓話を実施する。
3. ロータリー財団補助金の活用については、地区の「補助金管理セミナー」などから情報収集して、会員に報告する。

米 山 委 員 会

委員長 原 英 彦
委員 副島 昭弘

1. 会員に米山奨学事業を理解して頂く。
2. 地区委員長、米山奨学生に卓話をお願いする。
3. 会員一人あたり 6,000 円の特別寄付をお願いする。
4. 地区米山委員長セミナーへ参加する。

会 計

会 計 辻 清 定

1. 各委員会からの計画及び予算の申請を受け会長・幹事・各委員長と協議を行い収支予算書を作成
2. クラブの全ての資金運用を管理し毎月の支出を適正に行う。
3. 毎月の支出について予算に対する消化の進捗度を確認する。
4. 半期ごとに収支報告書を作成し会員に報告する。
5. 会費の徴収は四半期ごとに口座振替又は現金で行う。